

麻しん患者が国内外で増加しています

現在、海外で麻しんの流行が発生し、国内においても患者報告数が増加しています。

令和7年の麻しん患者報告数は265例に達し、今年第6週時点で、すでに32例確認されています。今年の症例のうち、国外での感染が11例、内8例はインドネシアと推定されています。また、14例は国内感染と推定され、輸入症例を発端とした渡航歴のない麻しん患者が報告されています。なお、現時点においては和歌山市での発生は認めていません。

年齢群別では、社会活動が活発な20～40代の届出が、全体の6割以上を占めています。予防接種状況については、半数が接種回数未了者、3割が接種歴不明者です。3月から4月にかけて人の移動が盛んになる時期です。**発熱や発しんを呈する患者を診察した際は、海外渡航歴や国内旅行歴、予防接種歴（原則2回接種）の確認など、麻しんの可能性を考慮した診療をお願いいたします。**

麻しんの検査診断と感染防止対策を速やかに実施するため、麻しんと臨床診断した場合、**直ちに情報提供いただき、検体採取にご協力**をお願いします。PCRによる行政検査を行います。

確保いただきたい検体 ※採取容器は、連絡時に保健所から至急お届けします

- ①咽頭ぬぐい液 ②血液 ③尿

上記のうち、採取可能な**複数検体**の確保をお願いします。

連絡先

平日 : 和歌山市保健所 健康危機管理班 TEL (073) 488-5109
夜間・休日 : 和歌山市役所 警備室 TEL (073) 432-0001

【予防接種勧奨のお願い - 保健対策課より - 】

現在、麻しんの定期予防接種については、接種率95%以上の達成を目指して取り組んでおりますが、令和6年度は全国的に95%を下回る状況が続いており、本市においても、MRワクチン1期、2期*とともに約93%と、いずれも目標に達していません。今年度においても現時点での接種率は伸び悩んでおり、目標達成が見込めない状況となっています。

本市においては、未接種者への個別勧奨を実施しておりますが、さらなる接種率向上のためには、医療機関の皆さまのご協力が不可欠です。つきましては、受診された市民の皆さまに対し、麻しん予防接種の重要性についての周知・啓発にご協力いただきますよう、お願いいたします。

※1期：生後12～24か月に至るまで

2期：就学前1年間（今年度対象者H31.4.2～R2.4.1生まれ、期日R8.3.31まで）